

探究アワード @大東高校

地域(他者)のために行動する「**地域パートナー探究**」の活動や学びをまとめ、その学びや想いを発表し、「**表現力**」を身につける機会となりました。

また、他グループや他学年の探究学習の成果発表を聞くことで、「**広い視野**」も持つとともに、質疑応答をすることで相互に「**思考力の深化**」を図ることができました。

当日は降雪など懸念されましたが、地域パートナーの皆様をはじめ、多くの方にご来校いただき、大変有意義な協働活動ができました。ありがとうございました!!



学校での1コマ

今学期は大寒波・豪雪にも見舞われましたが、「**たくさんの協働活動**」を展開することができました。2月5日には、早稲田大学より留学生2名が来校され、英語や体育の授業参加や、生徒たちとの交流を深めてくださいました。

また、「【雲南警察署】薬物乱用防止教室」「【大東税務署】租税教室」「【地域文化部】県大生との3C夢クラブボランティア」「【女子バレーボール部】部員デザインNewチームジャージ完成」をはじめ、「**大東高生が自他ともに学び深め合うシーン**」でいっぱいでした。

今は、決して大人数ではありませんが、失敗や苦難もなどを体験しながらも「**学びや小さな成功体験を積み上げる生徒と大東高校**」を、引き続きHPなどでも発信していきますので、是非ご覧ください!!



大東高校ホームページ



大東高校Facebook



大東高校Instagram



Topic

大東高校 PR法被 企画!!

- この度、「**大東高校 魅力化推進**」の一環で、「**大東高校PR法被**」の作製企画を進行中です!
- 今年度以上に、次年度も雲南市内外で活動の場を広げるうえで、「**一目でわかる・活動をもっと盛り上げたい・大東高校のPR活性化**」の声を形にした学内発進の企画です。
- PR法被を着た活動の様子にもご注目ください!!



3学期人権教育HR

3学期は、1年生は「**現状の差別事象について**」、2年生は「**差別の根源について**」、3年生は「**3年次での人権教育への意識付け**」、3年生は「**これまでの人権教育の総括**」という観点で実施をしました。

一人ひとりが「自分事として捉える」ことから世の中に現存する差別や人権問題と向き合うことの礎になればと思います。

《人権HR実施テーマ(学年別)》

1年生:性の多様性について考える

2年生:同和問題の歴史から学ぶ

3年生:講演『生きる』とは-三浦 成人

Shimane Prefectural Daito High School

島根県立大東高等学校 おいべ通信

& 大東高校PTA会報「**じょうほう織部**」合併特集

Oribe's Newsletter

2025年

3月1日発

3学期

特別号



地域とともに歩む学校づくり

猛暑だった夏が過ぎ、気がつけば年度末を迎える時期となりました。本年度もPTA会員の皆さまと地域の皆様の温かいご支援に支えられながら、本校の教育活動は順調に進めることができました。心より感謝申し上げます。

本年度は、地域と学校が一体となる数々の取り組みが実現しました。生徒会とPTAの共同企画の織部祭応援イベント、オープンスクールやしまね留学バスツアーでの、来校者を温かく迎える歓迎イベントなども開催していただきました。11月に実施したフォーラムディスカッションでは、保護者や地域の皆様、多くの方にご参加いただき、学校の魅力向上や活性化に向けた貴重なご意見をいただきました。地域と共に歩む学校の在り方を改めて考える機会となり、大変心強く感じております。

また、2年生の探究学習では、地域で活躍されている皆様にパートナーになっていただき、多様な分野における学びを深めることができました。さらに、県立大学の学生の皆さんと連携した3C夢クラブの活動や、雲南市のスペシャルチャレンジプログラムへの参加は、生徒たちにとって将来を考える貴重な経験となり、本年度の3年生の進路実績にもその成果がしっかりと表れています。

1・2年生も、学業はもとより、部活動や生徒会活動に励み、それぞれの目標に向かって確実に歩みを進めています。こうした成長の背景には、生徒一人ひとりの努力はもちろんのこと、保護者の皆様や地域の方々の支えがあってこそと、改めて感じております。

また、本校の教育環境の充実に新たな動きがありました。雲南市に整備していただいた共同下宿により、遠方や県外からの生徒も安心して学べる環境が整いました。さらに、4月からのレスリング部創部に向けては、雲南市や学校運営協議会、八雲会の皆様のご支援のもと、準備が着実に進んでいます。

これからも、地域の皆様の想いに応えられるように、生徒と教職員が一丸となり、より良い学校づくりに向けて努力を重ねてまいります。引き続き、PTA会員の皆様、そして地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



校長

陶山 裕史

PTA会長あいさつ



PTA会長

藤原 卓

今年度大東高等学校PTA会長を務めさせていただき数々の経験や出会いがありました。

その中で、8月22・23日に茨城県水戸市で開催された第73回全国高等学校PTA連合会大会では『歴史の町で変革を!!』を大会テーマに全国から約5,000名もの関係者が集いました。記念講演では二所ノ関 寛氏(第72代横綱 稀勢の里)より「人材育成の不易流行」の題目で講演を頂き、伝統を大切にしつつも流行を取り入れていく発想や、変化を恐れず進化を続ける行動力は、現在岐路に立たせられている大東高校と照らし合わせると同感するような講演でした。

また、その他のPTAの取組みでは年々生徒数の減少傾向にある中、大東高校復活を考えるようになり同じ思いを思っている方々と出会い、大東高校について

じょうほう織部 (PTA会報)



語り合い行動に移していった取り組みがオープンスクールでのジュース配布やしまね留学のバスツアーのおもてなしなど取り組みました。そして、学園祭に合せて開催をしたフードフェスティバルは想像をはるかに超える賑わいがあり大東高校に活気が戻った瞬間でした。

さあここからスタートです。大東高校が盛り上がるように賑わいがずっと続いていくよう先生方、地域の方々、保護者の方を巻き込んで今年よりもっと大きな花を咲かせましょう。

最後になりますが、一年間ご理解とご協力を頂きましたことを感謝申し上げます。



総務委員長あいさつ

総務委員長(PTA副会長) 和久利 博

本年度、PTA会員の皆様におかれましては本校PTA活動に対し多分なるご理解とご協力をいただき誠にありがとうございました。心からお礼申し上げます。

さて、私は副会長兼総務委員長として微力を尽くさせていただきましたが、総務委員会としての業務は限られており、昨年9月の学園祭(体育祭)におけるジュース配布でした。それでもその活動を通じて、たくさんの生徒の皆さんと触れ合う良い機会になったかと思えます。

ところで、委員会活動とは別の話になりますが、昨年7月に高知市内で開催された中・四国地区高校PTA連合会大会に参加させていただきました。各県、各高校の活動ぶりに触れるにあたり、たくさんの刺激を受けることができた、今後の参考になりました。

今後、PTAの皆様におかれましては、大東高校生徒の皆さんの学校生活が誰の胸の中にもかけがえのない思い出として残るよう、さらなる支援で生徒を支えていただきたくお願い申し上げます。



広報委員長あいさつ

広報委員長(PTA副会長) 原 勇治

11月に参加させていただいた「島根県幼こども園・小中・高・特別支援PTA合同研修会」について報告させていただきます。この合同研修会は、浜田市の県立大学で開催され、島根県内の各PTAから多数の参加がありました。講演会では、井村尚嗣氏(日本ベップトーク普及協会)による、アメリカのスポーツ界祥の「ベップトーク(PEPTALK)」を用いた「やる気を引き出す」手法について講演されました。

元々、広島ホームテレビのアナウンサーであった井村氏の話術にどんどん引き込まれたこともあります。この「ベップトーク」という手法も大変興味深い内容でした。最近ではスポーツのみならず様々な場面でも活用されているとのこと。「言葉の持つ力」とその効果的な使い方の重要性を感じました。

意見交換会では、たまたま近くの席に座った参加者4~5名でグループを作り、学校や地域、PTAの活動などについて意見を交わしました。地域や子どもの学年などもバラバラでしたが、お互いに共感できることも多く、有意義な意見交換となりました。

広報委員としての活動は不十分でしたが、貴重な経験をさせていただきました。一年間ありがとうございました。

研修委員長あいさつ

研修委員長(PTA副会長) 石川 正和

一年間、副会長および研修委員長として活動し、数多くの貴重な経験を積むことができました。

主な活動としては、PTA人権教育研修会に参加し、人権教育の重要性を深く認識したことが挙げられます。学校、家庭、地域が一体となって取り組むことが、より良い教育環境を築くための鍵であると強く感じました。特に、他校(幼稚園、小学校、中学校、高校)の実践発表を見学し、多様な視点や取り組みを学ぶことができました。令和8年度には当校の実践発表を控えており、これらの学びを今後の活動に役立てていけたらと思います。

最後に、この一年間の活動を支えてくださった先生方、運営委員、代議員の皆様々に心より感謝申し上げます。皆様の温かいご支援とご協力のおかげで、無事に大役を果たすことができました。本当にありがとうございました。

育成委員長あいさつ

育成委員長(PTA副会長) 福原 浩人

今年度は育成委員長の役目を仰せつかりましたが、仕事の都合等で活動に参加できず、申し訳ありませんでした。

数年前には育成委員会の活動として「加茂二十三夜祭」「大東七夕祭り」等でのパトロールを実施されていたようですが、近年はコロナ禍により見送っております。地域の祭りは一昨年頃から少しずつ以前のような活気を取り戻しつつあり、昨夏も地域の中に溶け込んで楽しむ大東高校生の姿が多く見られたように思います。子どもたちが学校、保護者だけでなく地域にも見守られ育まれていることに感謝し、またこれからは地域の力となる人材として活躍してほしいと願ってやみません。

最後になりましたが、皆様方のご協力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



雲南市スペシャルチャレンジ (ジュニア事業)

雲南市は、チャレンジ精神あふれる子どもたちの学びと成長を後押しする「雲南市スペシャルチャレンジ制度」を創設しています。本校生徒の取り組みを紹介します。

※ 一部の取り組みは、新聞等に掲載されました。



【プロジェクト名】

- ・親子で楽しく学べる郷土料理!
- ・お金の使い方と後悔する人を減らしたい
- ・食べて感じよう! ブランド米の魅力!
- ・親子のコミュニケーションを増やしたい!
- ・人生ゲームで詐欺被害を知ってもらおう
- ・外遊びをもっと楽しもう!! プロジェクト

- ・僕の私のおうちごはん
- ・「リメイク」で災害時の赤ちゃんを守ろう!
- ・UNNAN次世代のチカラプロジェクト
- ・英語と楽しく触れ合おう!
- ・高齢者と孫世代をつなぐキーワードは「方言」だ!
- ・大東茶でほっと一息あったりプロジェクト

校舎中庭の
鯉小僧

